

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 収納対策事業

市税等収入状況	H27 年度予算額	(参考) H26 年度決算(見込み) 額	(参考) H25 年度決算額
現年分(収入済額)	44,693,651,000 円	48,235,360,868 円	39,185,472,343 円
滞繰分(収入済額)	1,095,197,000 円	1,132,605,699 円	1,060,408,649 円
合計	45,788,848,000 円	49,367,966,567 円	40,245,880,992 円

事業評価チェック表

PLAN	<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 地方自治体の貴重な自主財源となる税収確保の重要性は増大し、税務行政における厳正かつ公平な事務執行を通じて地方財政の基盤となる財源を適正に確保していくことが強く求められております。税務行政は、各自治体が自己の責任と権限に基づき、市民に不公平感を招かない賦課及び徴収が求められていることから、公平公正そして適切な収納業務に取り組むものです。 ねらい 納期内納付及び自主納付の促進と滞納額の縮減 予算(取組) 徴税二課共通 ●差押えの強化(納税課 550 件以上・収納対策課 1,100 件以上) <ul style="list-style-type: none"> ●積極的な換価 ●口座振替加入率(平均 50%)の向上 ●納期内納付の促進(滞納繰越金減少) ●大口滞納案件(塩漬け)の解消 ●適正な執行停止及び不納欠損の執行
	<ul style="list-style-type: none"> 事業実績 別紙、資料参照

CHECK	評価項目	評価基準(概要欄の○)	評価点	評価コメント			
	必要性 (市民ニーズ)		きわめて必要性が高い(20点)	○	20	市税は歳入に占める割合が非常に高く、自主財源の根幹をなしている。市民の税負担の公平性の観点からもしっかりと収納対策に取り組む必要がある。	
必要性が高い(15点)							
どちらかと言えば必要性がある(10点)							
必要性が低い(5点)							
必要性がない(0点)							
公共性 (市で行わなければならないか)		市が行わないといけない(20点)	○	20	本業務を民間委託する自治体もあるようだが、本市では職員が取り組んでおり、今後とも継続して取り組むべきである。		
		公共性が高い(15点)					
		どちらかと言えば市が実施(10点)					
		公共性が低い(5点)					
		公共性がない(0点)					
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)		きわめて効果的である(20点)		15	職員が若返り、26年度の改善活動実践例では最優秀賞を受賞。軽いフットワークで業務を遂行する体制が整っている。徴収のための努力は認められるが、不納欠損も多い。不納欠損に至る前に早めの対応を期待したい。		
		効果的である(15点)	○				
		どちらかと言えば効果的(10点)					
		どちらかと言えば非効果的(5点)					
		非効果的である(0点)					
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)		きわめて優先性が高い(20点)	○	20	行政運営、市民サービス維持のために必要な財源である市税等に対する収納対策は、きわめて優先性が高く、早期のきめ細かな取り組みが必要である。		
		優先性が高い(15点)					
		どちらかと言えば優先性がある(10点)					
		優先性が低い(5点)					
		優先性がない(0点)					
成果 (目標の達成状況)		きわめて成果があがっている(20点)		15	不納欠損との関係も考えられるが、現年度分と滞納繰越分の収納率が上がっていることが評価できる。収納率100%を目指して努力を重ねていただきたい。		
		成果があがっている(15点)	○				
		どちらかと言えばあがっている(10点)					
		どちらかと言えばあがっていない(5点)					
		成果はあがっていない(0点)					
ACTION	評価	総合評価基準		計	90/100	課題	
		5	きわめて良好である	80点以上	○	5	<ul style="list-style-type: none"> 滞納額のうち100万円以上の大口滞納者の占める割合は68%ときわめて大きく、大口滞納者への更なる適切な指導が必要。 特別徴収の推進による現年度分の収納率向上。 国民健康保険税に対する適切な収納対策。
		4	適正である	60~79点			
		3	おおむね適正である	40~59点			
		2	問題がある	20~39点			
		1	不適正である	19点以下			

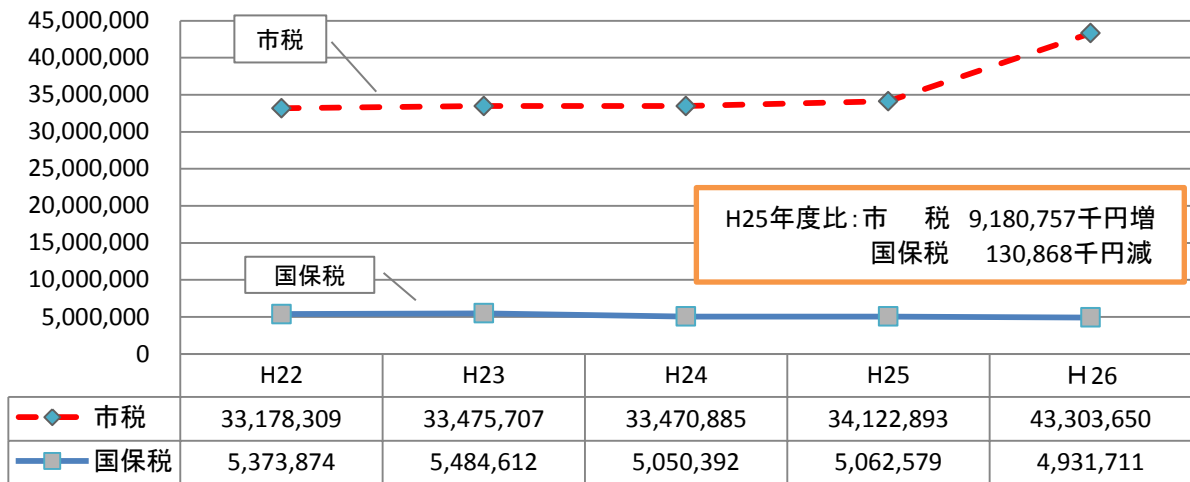
決算事業評価結果表

評価	今後の方向性基準評価(概要欄の○)	評価	決定理由
	5 「拡充する」		4
4 「現状のまま継続する」	○		
3 「改善・効率化し継続する」			
2 「見直しのうえ縮小する」			
1 「不適正である」			

事業名称	議会評価		特定理由(今後の事業展開)
	総合評価	今後の方向性	
収納対策事業	5	4	現年度分と滞納繰越分の収納率向上の傾向や預貯金の差押え等の執行によって滞納者数の減少という成果が出ており高く評価するものであるが、大口滞納者や国民健康保険税に対する収納対策が課題として挙げられる。特に、国民健康保険税については、収納率が低水準にあるため、滞納原因の究明と抜本的な収納対策の見直しを行い、現年度分の収納率に数値目標を定めて、その達成に向けた努力を期待するものである。

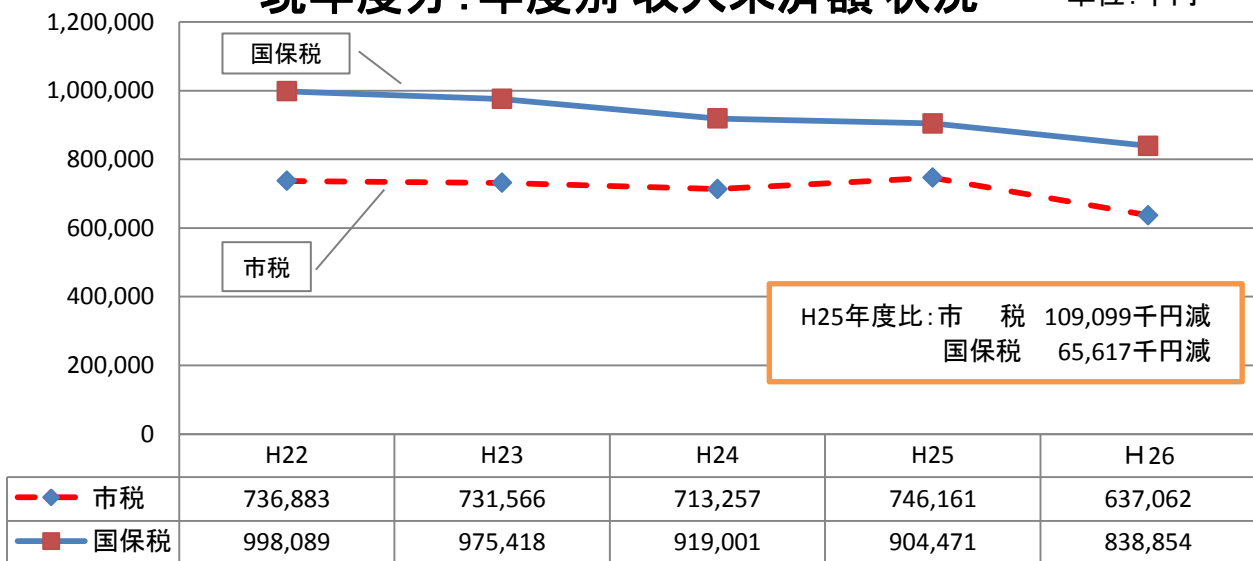
現年度分：年度別 収入済額 状況

単位：千円



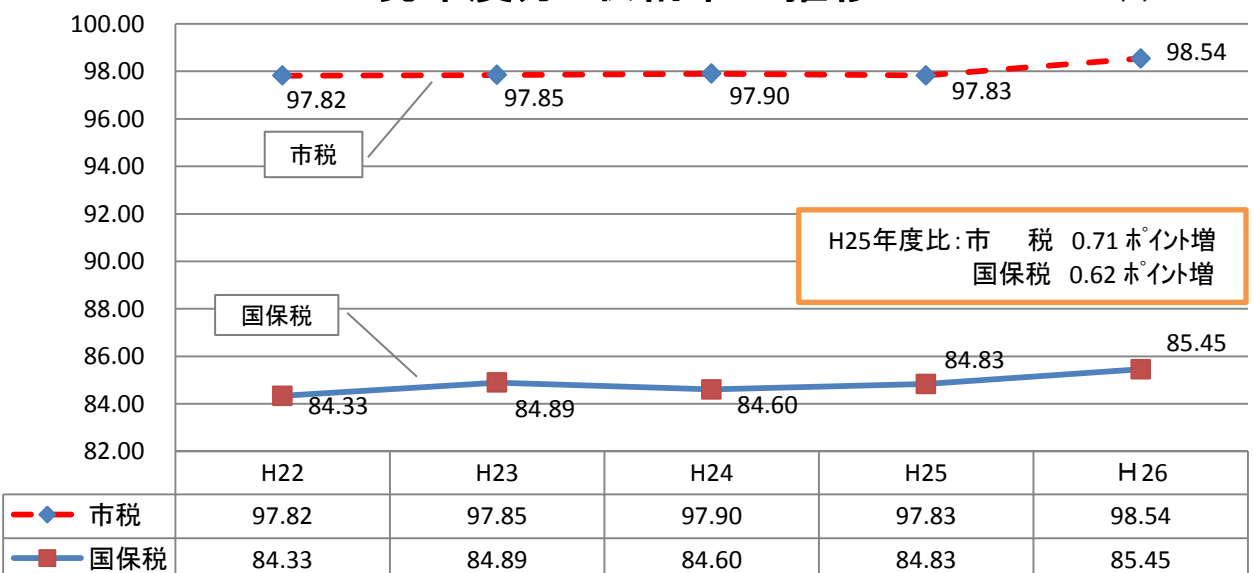
現年度分：年度別 収入未済額 状況

単位：千円



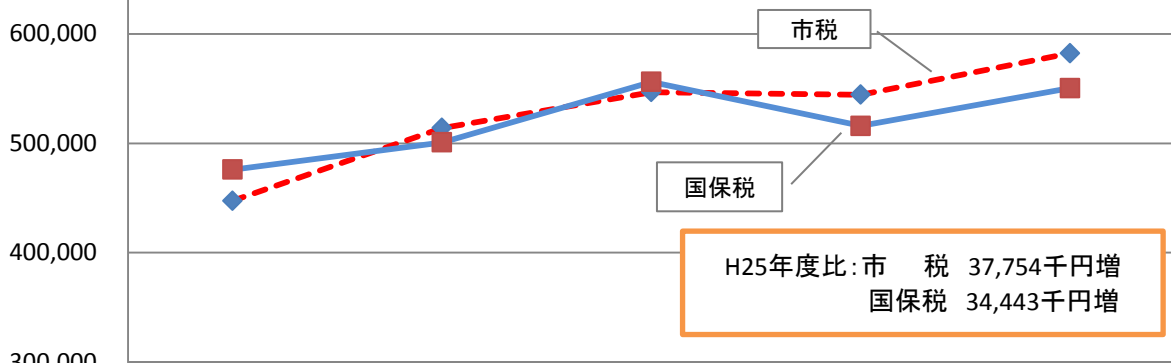
現年度分：収納率の推移

単位：%



滞納繰越分：年度別 収入済額 状況

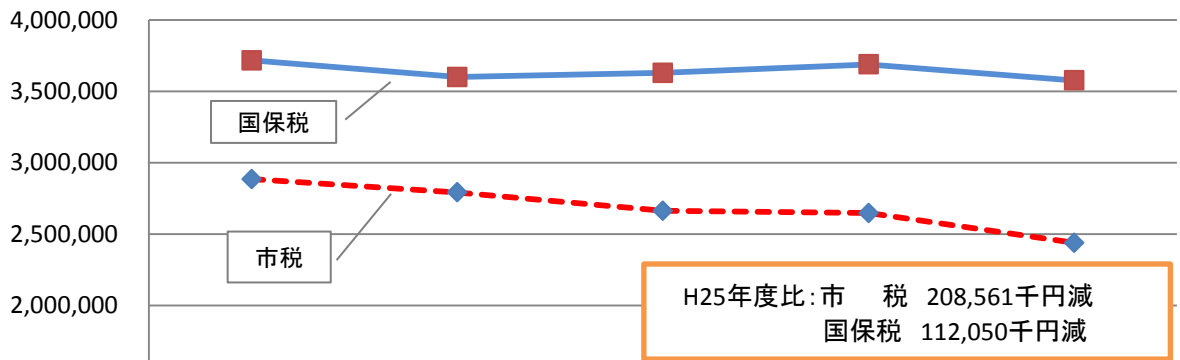
単位：千円



	H22	H23	H24	H25	H26
市税	447,462	513,969	546,755	544,459	582,213
国保税	475,920	500,773	556,025	515,950	550,393

滞納繰越分：年度別 収入未済額 状況

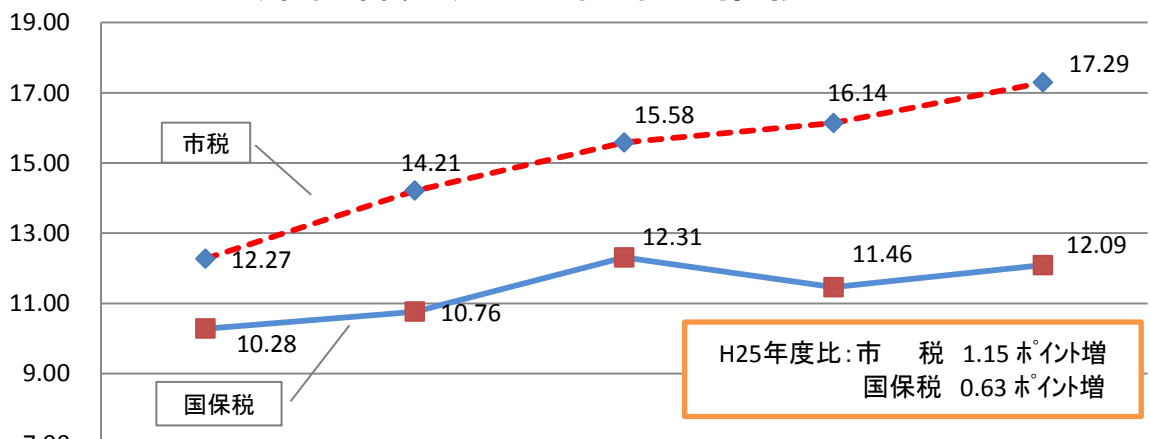
単位：千円



	H22	H23	H24	H25	H26
市税	2,885,542	2,791,405	2,662,959	2,646,967	2,438,446
国保税	3,718,218	3,601,120	3,629,978	3,689,715	3,577,665

滞納繰越分：収納率の推移

単位：%



	H22	H23	H24	H25	H26
市税	12.27	14.21	15.58	16.14	17.29
国保税	10.28	10.76	12.31	11.46	12.09